

JAUW 茨城支部だより 2012年度-4号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2013年2月21日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行

1月行く、2月逃げる、3月去る・・・と、特に1、2月の時間の早さを意識するのは加齢のせいでしょうか。時間がやたらと早く進むような気がする分、時間の大切さを頻に感じます。生きがいのある時間の過ごし方、茨城支部活動の中で皆が共に喜びを感じる過ごし方にはいつも頭を悩ますところですが、その点、今年の茨城支部の定例会は身近で足を地につけた時間を過ごしたのではないのでしょうか。

「知られざるお茶の世界」と題してお茶と人間のかかわり、お茶と香りの研究など長年コツコツと研究されてきた川上会員からの講話から始まって、自分の趣味生きがいとして培ってきた特技を生かした紅茶、中国茶、煎茶の美味しい飲み方等3シリーズいずれもゆったりと自分の目の前に現れるほっとした時間を味わい、語り合うことができました。そして、3月定例会は御抹茶と長沼さんの相続税の講話



を予定しています。会員のそれぞれの職能や特技を發揮していただき、これからはますますお互いを信頼し、高め合う場として活用、そこからしなやかに地域で活躍するエネルギーを醸成していけることを願っております。今年の新年会では長沼さん・上月さん・鈴木さん3名を新しい仲間として迎えることができました。仲間を得ることは最大の喜びです。新年の寿ぎばかりでなく、激励の応援をいただいたような思いでこの1年しっかりと活動していきたいと考えます。(支部長 今高 記)

茨城支部総会のお知らせ

2013年度茨城支部総会を開催いたします。総会特別行事としてハーモニーフライト研修員として参加した加藤(光)・安藤会員らの環境・福祉・教育などの海外先進地視察報告と企画展観賞会を行います。ぜひご参集ください。

場所： 茨城県近代美術館 会議室

〒310-0851 茨城県水戸市千波町666-1 Tel.029-243-5111

日時 平成25年4月20日(土) 13:30~

内容 2013年度総会行事

ハーモニーフライト2012ドイツ・オランダ研修報告

企画展 アンドリュー・ワイエス水彩・素描展 鑑賞

震災で被災した近代美術館に対し、朝霞市、丸沼芸術の森からの所蔵作品の無償貸与の申し出を受けて実現した展覧会です。入場券700円(70歳以上無料)

出欠を同封ハガキにてお知らせください。

活動報告

11 月定例会報告

平成 24 年 12 月 1 日（土）土浦まちかど蔵「野村」にて

「中国茶-本物を求めて山奥へ」講師 高橋仁美さん（国際茶塾士）のおはなしを聞きながら美味しい中国茶を頂きました、

中国茶の分類・緑茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶、黒茶花茶、とそれぞれの特徴飲み方など。

中国茶芸について・必要な道具、養壺（ヤンフウ）急須のこと、（急須を育てるという意味、）

お茶の効用について・烏龍茶、プアール茶、ジャスミン茶、杜仲茶、減肥茶、ギムネマ茶、などの話、時間帯で飲むお茶を替える、体の状態で替える、美味しく

常飲することが健康につながる話、

お茶の美味しい飲み方・最後に 大変高価な「東方美人茶」の話聞きながら、お茶を味わいました。

（安 記）



報告「JAUW 新春のつどい」参加

巳年を迎え1月12日、新宿京王プラザホテルにおいて、本部「JAUW 新春のつどい」が開催され、支部から6名の会員が参加しました。

第1部の2012年度国内奨学金贈呈式では、一般奨学生、安井医学奨学生および社会福祉奨学生の3分野において奨学金が贈呈された後、参加した8名の奨学生から各自テーマについてのスピーチがありました。茨城支部の推薦により社会福祉奨学生に選ばれた山ノ上奏（かな）さんは、「障害科学とは何か」のテーマで話されました。母の介助を得て車椅子で参加した彼女は、ご自身の脳性麻痺による運動障害を乗り越え、人間理解を深める中で、「障害に悩む人々を取り巻く環境（共生社会）の創設に取り組んでいる」そして「今まで支えてくれた多くの人たちへの恩返しとして研究を続けたい」と語りました。これからも奨学生の皆さんの飽くなき探求に、更なる研究活動に、そして社会貢献に大いに期待し、心からエールを送りたいと思いました。



奨学生 山ノ上奏さんを囲んで

第2部では「中国音楽の調べ」と題して、女性4名のアンサンブル“ジャスミン”により、中国の伝統楽器の中でも人気の二胡と楊琴（ヤンチン）の演奏に中国の歌を交え、「蘇州夜曲」「夜来香」などの澄んだ調べに酔いしれました。

第1部、第2部を通して右脳と左脳がバランスよく心地よい刺激を受けた後、会食・懇談で他支部の方々との交流を深め、豊かな思いに満たされたひと時となりました。

（牧野記）

◆ デートDV防止啓発出前講座 報告 ◆

平成 25 年 1 月 27 日、石岡市ふれあいの里石岡ひまわりの館 研修室において、平成 24 年度 第2回さわやかハーモニー講座が開催され、「なぜ起きる？ ドメスティック・バイオレンス(DV)」とのテーマで、城倉会員が講師を務めました。

民生委員を中心に茨城県女性のつばさ会員など、約30名が参加しました。茨城支部が実施した「若者の意識調査」に基づく調査結果から導き出された考察と、現在の日本におけるDV及びデートDVの現状と対策や課題についての説明がありました。意見交換では、セクハラなどや男らしさへのこだわりなど、「沽券にかかわる」世代からの意見や感想が出されました。アンケートからは、「今日話を聞いてDVについてもっと勉強したくなった」「データから説明があり、全般を通じて解りやすい講座だった」「自分で気が付かない行動も、相手の立場に立って考えることが大切だと思った」との感想が寄せられました。(城倉 記)

茨城県女性団体連盟のつどい 報告

平成 25 年 2 月 8 日 (金) 茨城県女性プラザ (レイクエコー) で開催されました。

主賓・来賓挨拶の後、海外派遣 ハーモニーフライトいばらき 2012 ~ドイツ・オランダ~の研修報告会があり、加藤光子会員、安藤隆子会員の実りある研修結果の発表がありました。(フライト報告は4月20日) 総会の折再度おこなわれる予定です。)



昼食・バザーの時間、会員の力作クッキー90袋を完売し、提供頂いた洋服も沢山販売出来ました。

午後演題「女性が輝く」講師 小原日登美さん(ロンドンオリンピック・女子レスリング金メダリスト)の講演。五輪への様々な思いを語り、質疑応答の折ベストパートナーであるご主人の話題等、明るい拍手で講演会が終了しました。

みんなで歌いましょう♪はギター奏者 ISA さんの演奏のあと 明日があるさ 等会場に歌声があふれ、閉会のことばとなりました。(幡谷 記)



ハーモニーフライト2012の報告会を聞いて

ドイツとオランダを視察したハーモニーフライト2012の皆さんの報告は、内容が濃く、また分かりやすくまとめてあり良いものでした。両国の教育、福祉、環境、男女共同参画についての現況の一端を知ることができました。教育については、特にオランダのヨハン・ヴェストシュタイン小学校の視察報告が印象に残りました。低学年は、社会性を養うことに重点が置かれ、一斉授業ではなく、いくつかの内容が用意されており子どもたちが選択して授業を行う形をとっていたこと、いじめをしないことを啓発するポスターが子供たちの目に付くところに掲示されていたこと、職員室に先生たちの101の褒め言葉が掲示されていたことなど日本の学校との違いを強く感じました。また、福祉については、ドイツでもオランダでも高齢者への保障は日本より充実しているように感じました。写真からゆったりと老後を暮らしている



様子が伺えました。環境については、ドイツのカーフリー住宅地、オランダの太陽光発電住宅地の報告から、環境に対する国や国民の意識の高さと実現力に素晴らしさを感じました。男女共同参画については、女性団体がDVや女性保護のため積極的に活動していることが話され参考になりました。報告全体から、ドイツでもオランダでも個人が尊重されていること、違いを認め合う社会であることが読み取れました。(安藤 記)



頑張った バザー



JAUW 茨城支部新年会

1月19日水戸とう粹庵2階和室で小川流煎茶と川柳を体験する

優雅な新年会となりました。煎茶は、幡谷会員の友人—小島さんのお手伝いも頂き、衝立と茶道具一式持ち込み、小川流の作法に従い古式豊かなお茶会となりました。

小川流煎茶とは、150年前の江戸時代末期、京都の医家後楽小川可進翁によって始められた流派です。我が国の喫茶の歴史はさらに古いですが、煎茶趣味に立脚し自然界の諸条件や茶の科学的究明にもとづき、衛生的かつ合理的独自の煎茶法を編み出し、煎茶の世界を一新したとされているのが小川流です。茶葉の性質を知り、その真価に触れ、医者立場から衛生的な配慮もされるという煎茶法は当時としては革新的なものでした。

順番よく並べられた小さな茶器を自分の順番を忘れないように頂戴し、濃厚なお茶の香りと味を堪能しました。廻し飲みではなく、一人一人茶器も違い拭く布も真新しい晒し布で清浄されるという、正に衛生的に管理されたお茶会でした。最後に、「お退屈様」という挨拶が印象的でした。

川柳は、清水会員から、その特徴や俳句との違い等の解説講義を受けて、川柳作りに悪戦苦闘して楽しみました。同じく「俳諧の連歌」から生まれた俳句と違って季語や切れ字は用いなくてもよく、川柳では日常的なわかりやすさや滑稽やおもしろさが重視されます。こうした大まかな特徴をつかんだ上で、『初笑い』『お正月』を教材として川柳作りに句を挑みました。江戸文化の風流と滑稽文化の一端を味わった新年会となりました。(加藤 記)



支部新年会に参加して



JAUW 茨城支部の新年会に初めて参加させていただきました。最初の「小川流の煎茶」の時間では、煎茶のお点前を見るのが初めての方が私を含め多数いらっしゃいました。皆様、何もかも珍しく興味津々で講師の幡谷さんの説明を熱心に聞いていました。そしていよいよお茶をいただく時には茶碗のお茶の量の少なさに驚くとともにあまりのお茶の美味しさに歓声があがりました。今までに飲んだことのない香りや甘みを知ることができ煎茶の概念が変わりました。同じ味を出せるわけではありませんが自分の雑なお茶の入れ方を反省し、もう少し丁寧に心を込めてお茶を入れるようにしたいと思いました。

美味しい昼食と楽しい歓談の後の「川柳」の時間では、講師の清水さんに川柳の基礎をお話しいただいた後、一人3句を5分程度で作ることになりました。お題をいただき悪戦苦闘しながら、作品を短冊に書き提出しました。今まで詳しく知らなかった文化の世界を、長年努力されてその道を究めた方から面白く紹介していただき本当に勉強になりました。(上月 記)

伊達巻を 手伝う孫の得意顔
粗野な甥 お正月だけ



“いばらきふれあいカフェ” シリーズ No.4

3月定例会のお知らせ

テーマ **税の話 & 抹茶を楽しむ**

日時 **平成25年3月31日(日) 13:30**

場所 **市民交流センター ひたちなか・ま**

ひたちなか市勝田中央1番2号

☎ 029-276-0101

車：市営元町駐車場をご利用ください

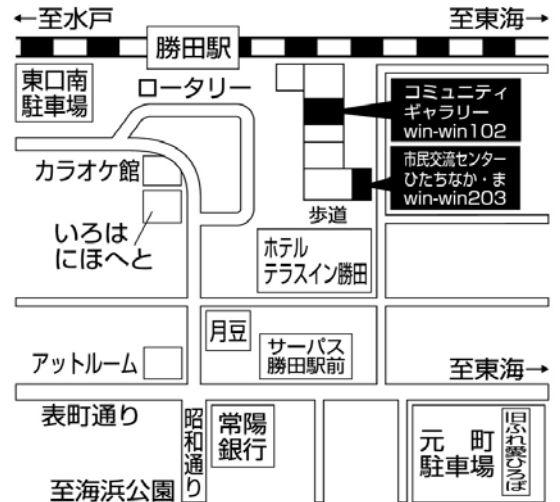
(2時間まで無料)

13:30 講話「相続・遺言いまどき事情」 長沼 早苗 会員(税理士)

14:30 デモンストレーション「抹茶に親しむ」 安藤 隆子 会員

会費 500円(抹茶・お菓子代)

申込 同封のはがきにてお申し込み下さい (3月15日まで)



2013年度全国総会・第2回定時会員総会ご案内

2013年度全国総会が名古屋市で開催され、日程等は下記の通りです。

5月18日(土) 懇親会18:00~20:30 会費7,000円

5月19日(日) 総会 午前 定時会員総会

午後 報告及び懇談

5月20日(月) 研修旅行：伊勢神宮 参加費 8,000円

今年の研修旅行は、伊勢神宮です。今年は20年に一度の遷宮を迎える記念すべき年です。

内宮・外宮はもちろん、昨年完成した「せんぐう館」や「おかげ横丁」も訪問します。皆さま、この機会にぜひ、ご参加下さいませ

詳しくはJAUW会報248号をご覧ください。

編集後記 今年には雪が多く寒い日が続いています、久しぶりで編集にチャレンジ、四苦八苦でした (HY)